

テックドクターによる助言(福岡県技術検討部会) (福岡県粕屋郡篠栗町田中315-1「福岡県建設技術情報センター」)

- ・市町村が管理する橋梁の症例(実態)を元に、補修工法における効果的な対策等の苦慮されている内容について議論を行い、今後の対応等についてテックドクターからの意見を伺った。
- ・開催日:令和5年8月7日
- ・参加者:TEC-Doctor(九州共立大学 まきずみ 牧角名誉教授、福岡大学 はぜはら 櫛原准教授)、福岡県技術検討部会

● テックドクターによる現地診断(福岡県技術検討部会)



【TEC-Doctorの見解】

- ・弱点は桁間の間詰部であり、可能であれば白線等で輪荷重を桁上に誘導する等をした方が良い。
- ・この橋梁は農村道で利用者が限られているため、一般公道とは違う扱いの道路と考えられる。昔の構造物であるためスペーサーがなく、中央部の被りが小さい代わりに上部のコンクリートが厚いため、水が入りにくい形になっている。劣化環境の改善という考えで、地覆からの水を水切りにより対策し、コンクリートの叩き落しをして鉄筋防錆をしておけば良いのではないかと。